

## One Smile プロジェクトについて

避難所でのご縁で、様々な支援の申し出を受けました。私はみなし仮設住宅にいて、同じ被災者でも、仮設住宅には支援物資がふんだんに届き、みなし仮設は、個人情報を開できないとの理由から、被災者がどこにいるかは公開できず、物資を貰えないということに矛盾を感じていました。

みなし仮設は、普通の町中のアパートです。仮設に比べて、日常感があり自立には良い環境だと思いましたが、経済的に苦しい事情は同じです。また、仮設扱いで家賃を免除されている人と、普通に家賃を払っている人が隣同士だったりして、自分が被災者だとさえ言えないこともあると聞きました。

そんな皆さんのお役に立てるのなら！と、支援物資を受け取り、様々なイベントを企画し、その中で来場者に差し上げるようにしました。

私は、全国にある「おやこ劇場」の一つ「石巻子ども劇場」で活動していました。子ども劇場は、親子で芸術鑑賞を楽しむ会で、人形劇や舞台劇などを石巻に呼び、皆さんに見ていただく活動を仲間と一緒にしていました。そこに、支援を地域に還元する部署を作り、「One Smile プロジェクト」と名付け、今日こそ笑顔になりたいあなたのために・・・という気持ちで、できることを考え取り組みました。

一番初めは、震災の年の9月、京都の棚田でとれた新米を、人形劇を見に来た親子に配りました。また、仮設住宅の子ども達が楽しむお祭りを企画したり、クリスマスのイベントは3年連続で開催することが出来ました。

また、語り部としていただいた謝礼や募金で「狂言の会」を開き、茂山良暢様のご協力で、小さい鑑賞会ではありましたが、多くの方に楽しんでいただきました。

石巻は町中が被災しています。被災者がどこでどんな思いで生活しているか知られない部分もあると思います。「初めて、外に出ようという気持ちになった。「支援物資は初めてもらった。」そんな声を聞くたびに、同じ立ち位置の自分だからこそできることを、多くの方のご協力がある限り、続けていきたいと思っています。

石巻子ども劇場広報部 浅野仁美

クリスマスイベント「キッズフェスティバル」



\*まつぼっくりは大阪から、折り紙は熊本から届きました

茂山良暢狂言の会「笑の集い」



(画像は劇場内で使用するものです。ご配慮ください。)